

優秀賞

The Planet of Water

小島 功至 (デザイナー：熊本県)

水の惑星と呼ばれる地球。その水のサイクルを教養として学び、地球の一員としての当事者意識を持つことがこのゲームの狙いです。

雨として降るところからスタートします。空から落ちてくる雨粒は森や林を抜けて地中に染み込みます。その先はダンジョンとなっていて迷路のような複雑な地層を進んでいき、水源などで湧き水として湧き出てステージ1のクリア。ステージ2は「人の生活」のステージです。パズルゲームのようなイメージで水道管を組み合わせてようやく家庭まで辿り着きます。排水溝に詰まった野菜ゴミのトラップや分解できない油に当たってしまったらゲームオーバー。それらを避けながら排水溝から先の下水道ステージを進みます。下水道は単に汚水が流れる場所ではなく、人が生活で使って汚れた水を綺麗にして自然に戻すための大切な場所です。最後は綺麗な水として川や海となりステージクリア。エンディングでは地球を包む雲となりまた雨となります。

毎日の生活で当たり前のように使っている水ですが、地球全体の水をコップ1杯とするならば人が生活で使える水はたった一滴です。水道をひねれば出てくるものではなく限りある資源であることを啓発すると共に、地球とヒトの生活サイクルをひとつのゲームとして体感することで環境問題を分かりやすく理解し、多くの人の水の扱いについて影響を与えること。そしてその積み重ねが100年後の子どもたちのために出来る今日の私たちの行動だと思ってこのゲームアイデアを考えました。